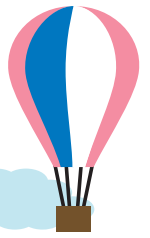


マイタケの薬効は 補完医療に応用可能か？



2017年 **3月11日(土)**
13:30 開演 (13:00 開場)

会場 **ボルファートとやま** 4F/ **めいの 瑪瑙**

定員 / 80 名 (先着順受付)

入場無料



- 〒930-0857 富山県富山市奥田新町 8-1
- TEL/076-431-1113
- <http://www.wohlfahrt-toyama.co.jp/company#map>
- JR 富山駅北口より徒歩約 5 分

※詳細はホームページ等でご確認ください。

講演者：難波宏彰 博士

神戸薬科大学名誉教授、鹿児島大学大学院客員教授
米国 The New York Academy of Sciences 会員
米国ライナス・ポーリング記念財団 終身名誉理事

神戸薬科大学名誉教授、鹿児島大学大学院客員教授である難波博士は、マイタケの含有する多糖体が、免疫細胞を活性化することによってガン細胞の増殖を抑制することを見出しこの物質をMD-Fraction、また、生活習慣性疾患の改善に作用する物質をMX-Fractionと各々命名されました。これら両物質の構造や、その作用機作解明の結果は、日本のみならず、アメリカ、ドイツ、イタリア、韓国、中国などの専門の学会発表や招聘講演で丁寧に発表された後、すでにこの成果は専門の科学誌に掲載され注目されています。MD-Fractionはアメリカ政府の資金援助のもと、スローンケタリング癌研究所において人臨床第Ⅱ相試験が行われ、その有効性が検証されました。この成果は、アメリカ臨床腫瘍学会で発表され、すでに癌専門科学誌に論文として掲載されています。さらに、このMD-Fractionによる骨髄異形成症候群の人臨床第Ⅱ相試験もアメリカ政府の認可を受け、すでに有効例が得られつつあります。これらの研究業績によって、アメリカ癌補完治療学会賞および、二種のノーベル賞受賞者であるライナス・ポーリング博士の栄誉記念財団からポーリング・グランプリ賞を世界で初めて受賞され、同財団の名誉理事に任ぜられました。

このセミナーは、両物質の研究者である難波博士による“癌補完医療においてマイタケが有効性を示す仕組みや、習慣生活改善の可能性の有無”をテーマにした講演です。



注意事項

講演の録音・録画・写真撮影は、病歴等の個人情報を含むため、固くお断りいたします。
お子様連れのご参加はできません。大学への問い合わせはご遠慮ください。

主催
お問合せ

WIS免疫療法懇談会 (特定非営利法人 統合厚生協会)

✉ info@wis-j.org